



## 選考試験・面接に備えよう

### ■ 筆記試験（適性検査）

筆記試験（適性検査）は、テストセンターや企業の会議室、自宅のPCなどで受験することが多いです。企業は筆記試験を行うことで、応募者の基礎学力やパーソナリティ、情報処理能力などを判断しています。基準点を超えた応募者のみが面接に進めるなど、最初の選考として設定している場合が多いです。

#### ● SPIテスト（Synthetic Personality Inventory）

SPIテストは日本の就職活動で最も主流の筆記試験です。テスト内容は、基礎能力（言語＋非言語）と性格から出題されます。SPIテストの特徴は、短時間で多くの問題に回答しなければならないという事です。分からない問題でも必ず回答して次に進みましょう。SPIテストは、能力検査だけでなく性格検査もあることから、企業は学生の総合的なポテンシャルを測ることができます。

#### ● その他のテスト

SPIテストの他にも「玉手箱」や、SE（システムエンジニア）やプログラマーなどのコンピューター職の選考にて多く用いられる「CAB」、総合商社や専門商社の選考にて多く用いられる「GAB」等があります。

#### ● 受験形式

##### ① テストセンター方式

専用会場で試験を受けます。WEB上から日程や会場を予約し、事前にWEBで性格検査を受けた後、予約した日程に試験会場で試験を受けます。

##### ② WEBテスト方式

自宅などから試験を受けます。指定期間内に自分の都合に合わせて受けることができます。

##### ③ ペーパーテスト方式

WEBではなく、試験会場に赴いて紙ベース（マークシート）の試験を受けます。WEBテストに比べ、出題数が多く、最も難しい方式とされています。



### 筆記試験対策のポイント

#### ① 練習問題を繰り返し、何度も解く

筆記試験はスピード勝負です。練習問題を何度も解いて、時間配分に慣れておくことが大切なポイントです。

#### ② 新聞やニュースを毎日チェックする

新聞やニュースを毎日チェックして、日々の時事問題に関心を持ちましょう。新聞には、スマートフォンで読めるデジタル版もあるので、新聞の入手が難しい場合は、利用するのもよいでしょう。

#### ● 筆記試験の問題例

問1. ( ) 内のひらがなを漢字に直しなさい。

経済財政（しもん）会議

問2. 空欄に正しい言葉を記入しなさい。

労働者を保護するための労働三法は、労働基準法、労働組合法、( ) 法の事である。

問3. 江戸幕府を開いた人物の名前を選びなさい。

ア) 徳川吉宗 イ) 徳川光圀 ウ) 徳川綱吉 工) 徳川家康

問4. 次の□の中に適当な数値を入れなさい。

3 4 8 17 33 □ 94

【答え合わせ】

問1. 諮問 問2. 労働関係調整 問3. 工) 徳川家康 問4. 58

## ■ GD・GW（グループディスカッション・グループワーク）

GD（グループディスカッション）、GW（グループワーク）は、企業によって方法やテーマが様々です。数人でグループになり、テーマに沿って討論をしたり、企画を立てたりする中で、社会人としてのマナーや協調性、積極性が問われます。あくまでチームワークを意識しましょう。

### ●GW・GDの流れ

#### 1 テーマが出題される

企業からGD・GWのテーマが発表されます。



#### 2 リーダー・タイムキーパー・書記などを決定する

リーダーは、なってもならなくてもOK。リーダーが必ずしも評価される訳ではありません。各自の立場で、すべきことをしているかがチェックされます。

※役割をじゃんけんで決めるのはNG！「今までリーダーの経験がある方はいますか？」などと、経験から割り振るとよいでしょう。

#### 3 時間配分を決める

タイムキーパーを中心に、時間配分を決めます。最後に時間が足りなくなることもしばしばありますので、時間配分をしておくことで発表までスムーズに進められます。タイムキーパーになったら、話し合いに夢中になって時間チェックを忘れてしまうことが無いように気を付けましょう。

#### 4 意見を出し合い、チームの発表内容を決定

ここでは「協調性」がチェックされます。自分の意見に自信があっても、無理に意見を押し通すのは、マイナス評価です。他の人の意見を尊重しながら、テーマに沿った意見がまとまるように協力しましょう。

#### 5 発表

これは基本的にはリーダーの役目になります。GD・GWのテーマには、正解がないものがほとんどです。話し合いのプロセスでどう考えたか、どう工夫したかなどを具体的に発表しましょう。

## ■ 面接

選考面接は、人数と形式の違いにより、いくつかの種類に分かれており、通常一つの企業で内定が確定するまでに3~4回の面接が行われます。何度行っても、一貫した自己PRと態度で臨むことが必要です。どんな形式でも、落ち着いて話せるよう、何度も予行練習をしましょう。

### POINT

#### 面接でのマナー・注意するポイント

##### 1 最寄り駅に30分前には到着、受付は5~10分前に

面接会場の最寄り駅に30分前には到着するようにしましょう。駅に到着したら、トイレの鏡で身だしなみをもう一度チェックするとよいでしょう。万が一、電車の運休・遅延、事故などで遅れてしまう場合は、必ず企業の担当者に電話で連絡をしましょう。

##### 2 コートなどの上着は、建物の外で脱いでおく

上着は建物に入る前に脱ぐのがマナーです。コートについた汚れや花粉を室内に持ち込まないように、たたむ際は裏返しにたたむのが基本です。

##### 3 スマートフォンの電源は切っておく

スマートフォンは、マナーモードや消音モードではなく、必ず電源を切るようにしましょう。待機時間も、スマートフォンを見るのはマナー違反です。

##### 4 面接会場ですれ違う人には笑顔で会釈を

面接会場ですれ違う人は、その会社の社員の可能性が高いです。すれ違う際は、無視せずに笑顔で会釈をするようにしましょう。


##### 5 面接終了後も気を抜かない

面接が終わっても、企業のチェックは続いています。最寄り駅に着くまでは、気を抜かないようにしましょう。

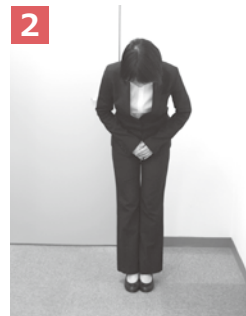
●面接の流れ

①入室～名前を呼ばれたら大きな声で返事をし、ノックして入室します～


**1** **ドアをノックする**  
面接官に「お入りください」と言われてからドアを開けます。ノックは3回が望ましい。




**2** **ドアの前で一礼**  
ドアは静かに閉め、入室したらすぐに椅子に向かわずに、まずドアの前で一礼します。



**3** **椅子の横で一礼**  
「〇〇大学の△△と申します。よろしくお願いたします。」と自己紹介をする。このとき面接官と目を合わせるとよいでしょう。



**4** **着席**  
面接官に「どうぞ、おかけください」と言われてから着席する。勝手に座るのはNG。



②退室～入室と反対の流れで退室します～

**1** **起立して一礼**  
椅子の横に立ち、「本日はありがとうございました。」とお礼を述べてから一礼する。



**2** **ドアの前で一礼**  
ドアまで戻り、ドアを背にしてから「失礼いたします。」と言って一礼する。




**3** **退室**  
ドアを静かに開けて退室。閉める時も静かに閉める。廊下での余計なおしゃべりなどは慎みましょう。




③おじぎ・座り方のマナー

**おじぎの例**  
深すぎず、浅すぎない30度の角度を意識しましょう。



**座り方の例**  
深く腰掛けず、背筋を伸ばしましょう。背もたれに寄りかかるのもNG。



●WEB（オンライン）面接

地方在住の学生の移動の手間を省いたり、感染症対策としてWEB（オンライン）面接を取り入れる企業が多くなっています。WEB上のシステムを利用して、集団面接や個人面接を行います。

面接の内容は、対面で行う面接と大きな差はありませんが、WEB面接の際に特に気を付けるべきポイントを把握しておきましょう。



**POINT** WEB面接で注意するポイント

- 1 場所は友達や他人がいない個室を選び、環境に合わせて位置を決める**  
WEB面接を行う場所は、他の人がいない個室を選び、照明の位置や窓の方向、背景などの環境に配慮して位置を決めましょう。後方からの日差しや照明は、逆光になり顔が暗く見えてしまうため、気を付けましょう。
- 2 安定したインターネット環境を確保し、あらかじめ接続テストをしておく**  
インターネットの接続が不安定だと、面接を円滑に行うことができません。できれば有線LANケーブルがある環境で。難しければWi-fiルーターがそばにある環境を確保しましょう。
- 3 デバイスの充電はフルに、他のアプリの通知はオフにする**  
面接中に充電不足で切れてしまうことが無いよう、デバイスの充電はフルにしておきましょう。また、面接中に不要な通知が出ないよう、メッセージアプリなどの通知はオフにしておくとうよいでしょう。
- 4 服装は面接にふさわしい格好で、リアクションは大きめに**  
WEB面接とは言え、正式な面接に変わりはありません。企業からの指定がない場合は、スーツで参加することが無難です。また、手元などが相手に見えない為、身振り手振りなどの表現に制限があります。リアクションや、相手の話に頷くときは、普段より少し大きめにしましょう。